

昴（すばる）

作詞・作曲 谷村新司

目を閉じて 何も見えず
 哀しくて 目を開ければ
 荒野に向かう道より
 他（ほか）に見えるものは無し
 嗚呼（ああ） 砕け散る
 宿命（さだめ）の星たちよ
 せめて密（ひそ）やかに
 この身を照らせよ
 我は行く 蒼（あお）白き頬のままで
 我は行く さらば昴よ

木枯らしが歩道の枯れ葉を吹き飛ばし、街行く人々はまるで生き急ぐようにやり残したことを片付けようと、慌ただしく駆け回ります。しかし、星空は、ゆっくりと冬の装いに替えていきます。ペガサス座を代表とする秋の星座たちは西に傾き、いつの間にか、オリオン座を中心とする冬の星座たちが東の空を埋め尽くしています。頭上に目を移すと、牡牛座の赤い星（アルデバラン）からやや離れたところに小じんまりとまとまった星の集団を捉えることができます。これが日本では古くから「昴（すばる）」の名で親しまれる星団です。「すばる」は外国語だと誤解している人が多いのですが、れっきとした日本の名前で、「集まって1つになる」という意味の古い言葉「統ばる（すばる）」からきているといわれています。

その美しさは古くから多くの人々に感動を与えました。夜空に散りばめられた星々があまりにも美しかったことから、清少納言は代表作「枕草子」に「星はすばる・・・」と、褒めたたえています。肉眼では5〜6個ほどの星しか見えない「すばる」ですが、望遠鏡で見るともっとたくさんの星々が集まっていることがわかります。星の総数は、どのくらい暗い星まで数えるかにもよりますが、100個とも200個ともいわれています。

「すばる」の星々が誕生したのは、比較的若く6000万年ほど前に生まれたといわれ、周囲には星が誕生したときの星間ガスがただよい、明るくうっすらと見えています。また青白く輝いていることから表面温度がきわめて高く、質量は太陽の十数倍と考えられています。

太陽が生まれたのが約50億年前ですから、それと比べるとずいぶん若い星団ということがよくわかります。もしかしら、恐竜は、「すばる」の誕生を見ることなく絶滅したのか知れません。

しかし、「すばる」の星々の寿命は短く、やがて次々に超新星爆発を起こし、消滅するのではないかとみられています。

星の大きさや質量、エネルギーをどのように消費しているかによって星の一生は決まってきます。太陽のように比較的小さくておだやかに燃える星は寿命が長く、百億年ぐらい、逆に「すばる」のようにもすごく激しく燃える星は短命で、1億年ぐらいの寿命しかないといわれています。数千年後には、この美しい輝きは失われてしまいます。

* * * * *

谷村新司さんは、「星の進化」について十分な知識を持っておられ、これに瑞々しい感性が加わって「昴（すばる）」のような素晴らしい作品に昇華されたものと考えています。

そして、この名曲「昴（すばる）」は、いつまでもアジアの人々の間で広く愛されていくことでしょう。

註）「すばる」の正式名は、「ブレアデス星団（M45）」といえます。この星座は、右肩上がりのオリオン座の三つ星をそのまま頭上まで延ばすと見つかります。 (校長 福島健一郎)

合言葉は『平常心！』

2年内村君の激励の言葉



～平成18年度大学入試センター試験
 諫早高校生の大きな目標の一つである「大学入試センター試験」が、1月20日(土)・21日(日)の2日間にわたって県内数会場で開催されました。今年度の諫高生の受験会場は長崎大学ということで、3年生は19日の午後から現地へ下見を行うなど万全な体勢で試験に臨みました。20日(土)は「公民」「地歴」「国語」「英語(筆記)」「英語(リスニング)」、21日(日)は「生物」「数学①」「数学②」「化学」「物理」が実施され、最後の科目まで受験する生徒は終了時刻が18時過ぎというハードスケジュールでした。諫高入学の日から生徒達はこの日のために部活との両立を図り、1日1日学習を積み重ねてきました。本番では実力を全て出し切れたことと思います。



(上) 前日のセンター試験壮行会の様子



1年馬場さん・武藤さんの息のあった激励

サプリメント(栄養補助食品)とは？

～理数科講演会12/9(土)～

『サプリメント(栄養補助食品)について』と題して理数科講演が行われました。主な内容は次の通りです。

- (1) サプリメントの概念
- (2) 食品の機能とサプリメントの対象となる食品成分
- (3) 保健機能食品制度の概要と法的位置付け
- (4) 特定保健用食品の摂取上の留意点
- (5) 栄養機能食品の特徴と摂取上の留意点

右奥先生の講演



身近な題材で生徒の関心も高く、積極的な質問もあった。生徒にとってサプリメントが薬なのか食品なのか区別がつかなかったが、この講演によりサプリメントが栄養補助食品であるということが理解できた。そのほたらきは、日常の食生活で足りない栄養素を補給したり、その摂取により健康を保持・増進したり、疾病の予防などである。しかし、法的裏付けのないものも売られており、購入するときは成分表示を確認する必要があるという意識が高まった。



(左)お礼の言葉を述べる2年理数科岩永さん

全力で走った都大路

～全国高校駅伝競走大会～

6年連続で男女出場となった男子第57回・女子第18回全国高校駅伝競走大会(京都・都大路)において、本校男女駅伝部は男子が第17位、女子が第5位という結果を収め、諫早高校生の代表として、そして長崎県の代表として堂々とした走りを見せてくれました。特に女子は**10年連続全国大会入賞**という快挙で、長崎に諫早高校在りというところをまたひとつ全国に伝えることができました。

また、男子は11月に佐賀で行われた**全九州高校駅伝大会の初優勝**を引っ提げて臨んだ全国大会でしたが、自分たちの走りができずに悔しい負け方をしてしまいました。しかし、彼らは九州大会から全国大会までのこの一ヶ月で、日本中の高校生の中でも最も貴重な体験ができたのではな



5位(入賞)でゴールする桐谷瞳さん

写真・長崎新聞社提供

いかと思います。今回経験した精神力・体調管理・チームワーク・勝つことの難しさはしっかりと選手達の心に刻み込まれたことでしょう。そして近い将来、強い諫高男子が誕生することを期待します。



(右) 競技場のスタート直後。先頭に出る松永明希さん

ちっちゃいけれど、元気いっぱい!

家庭科の保育分野の一環として今年度も1年生を対象とした「幼稚園実習」の授業がありました。2～3クラス単位での訪問で、城山公園など園外へ散歩に出かけたり、やきいもを焼いたりする行事に参加して園児の補助観察を行いました。最初は遠慮して行動が



鈍かった生徒も、園児の方からまわりつかれていくなどしていつの間にかそのペースに振り回される姿がとても滑稽で、約2時間の実習時間があっという間に過ぎてしまった感じでした。ジャージの色が同じ「赤」で、見分けがつかない生徒が多数いたということです。

日本の首都と古都の魅力を実感...

(下) 高さ333mの東京タワー



(下) ディズニーランドでリラックス

～2年生修学旅行～



高校生活における最大のイベントである「修学旅行」が、12月14日(木)～18日(月)の4泊5日の日程で実施され、第2学年304名は首都東京と古都京都を中心に個人の見識を深めようと企画された各研修場所で積極的な研修活動を見せてくれました。普通科6学級は東京到着後、事前に「総合的な学習の時間」で調べ学習していた30企業に分かれて班別企業訪問研修へと向かい、現在の日本をリードしている一流企業の様子を体験、自己の将来や職業に対する意識を高めました。また、理数科2学級は普通科とは別コースで、理数科初年度から継続している筑波研修を実施。気象研究所・理化学研究所・筑波大学・ハザマ技研など理数系の先端企業と大学を視察し、科学技術研究に対する興味関心をそそられると同時に、今後の諫高理数科の活動に対する意識を高めました。

(右) えいっどっちいけばいいとっ?



(左) 東大寺。おつきー!



2日目は東京観光の後ディズニーランドでリラックスし、3日目に京都へ移動。午後からは京都班別自主研修で古都京都を散策しました。4日目には奈良の東大寺と法隆寺を訪問。現地ガイドさんによる歴史の裏話はかなり興味深く、生徒達は食い入るように集中していました(授業中も頼みますよ、皆さん!)。4泊目は豪華?客船に船泊。かなりの大きさの客船で揺れも少なく、快適な船旅でした。大きな事故や病人もなく、目的も達成できた充実した修学旅行でした。

各種表彰

- 科学部：長崎県高等学校総合文化祭 第12回科学研究発表大会
展示発表の部
優秀賞 テーマ「鉄釘のさびについて」
優良賞 テーマ「ライトレーサーのしくみ」
優良賞 テーマ「本明川の魚について」
- 写真部：長崎県高等学校総合文化祭 県央支部 第18回合同写真展
優秀賞 高稲歩美 作品名「冬の予兆」
優良賞 藤江諒子 作品名「秋」
- 放送部：第28回九州放送コンテスト 長崎県大会
朗読部門
優良賞 武藤杏里

<1月～2月の行事予定>

- 27(土) 県一斉実力模試(1・2年)
- 2/3(土) 進研模試(1・2年)
- 4(日) 進研模試(2年)
- 8(木) 課題研究発表会(2年)
- 13(火) マラソン大会
- 14(水) 課題研究発表会(1年)
- 15(木) 学年末考査時間割発表
- 17(土) 土曜特別学習会
- 22(木)～学年末考査(~28日)
- 28(水) 卒業式予行・同窓会入会式